

MS&ADインシュアランス グループについて

MS&ADインシュアランス グループは、三井住友海上グループ、あいおい損害保険株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社が2010年4月に経営統合し、MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（以下、「MS&ADホールディングス」）を持株会社として、発足しました。グループ発足後は、あいおい損害保険株式会社とニッセイ同和損害保険株式会社の合併、三井住友海上きらめき生命保険株式会社とあいおい生命保険株式会社の合併、シェアードサービスの統合などを進め、グループ経営の効率化を図ってきました。

前中期経営計画では、経営理念、経営ビジョン、行動指針に従って、グループの中核損保である三井住友海上火災保険株式会社とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社を中心とした「機能別再編」をはじめ、「グループガバナンスの強化」「ERM経営の推進」および「事業構造の変革」を柱に、着実な取組みを展開しました。

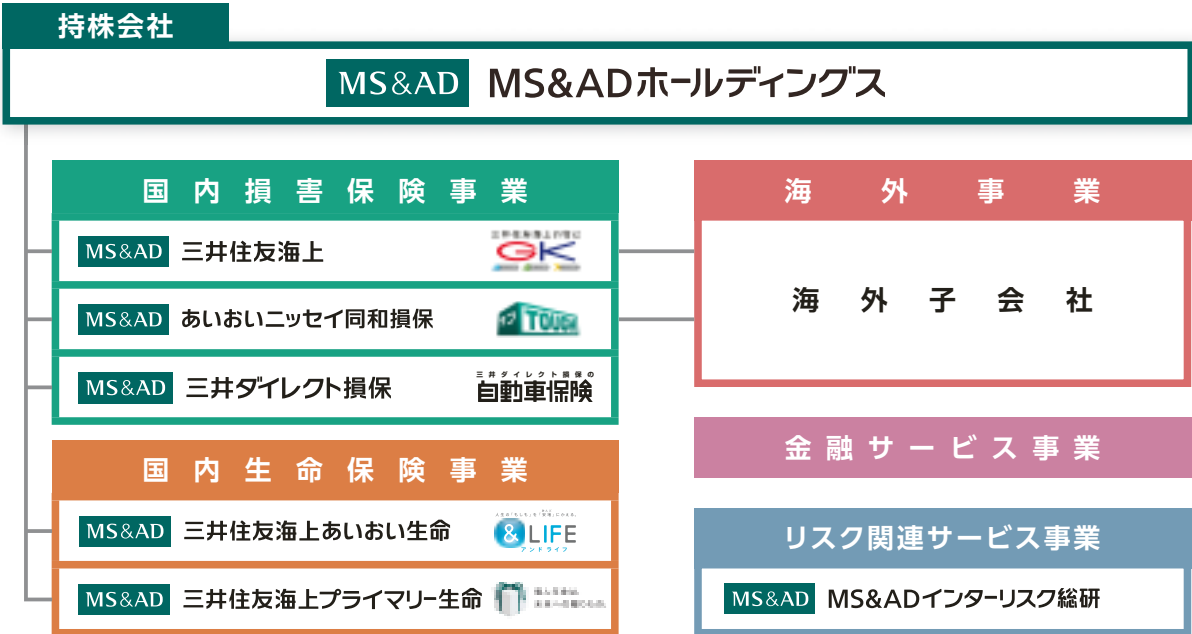
こうした成果をさらに拡大していくために、2018年度、新しいグループ中期経営計画「Vision 2021（2018～2021年度）」を策定しました。「世界トップ水準の保険・金融グループ」の実現を見据え、国内損保事業の安定的な収益を維持・拡大するとともに、国内生保事業・海外事業の収益性を大きく拡大し、ERM（エンタープライズ・リスクマネジメント）経営を軸に、健全性確保を前提に、収益力と資本効率の向上に取り組んでいきます。また、当社グループは、最大の強みである「多様性」を活かしたグループ総合力を発揮し、環境変化に柔軟に対応しながら、生産性と品質の向上に努め、社会との共通価値を創造すること（CSV: Creating Shared Value）を軸とした企業活動を推進していきます。



MS&ADホールディングスが入る東京住友ツインビルディング

グループの構成

(2018年4月1日現在)



5つの事業ドメインを支えるMS&ADインシュアランス グループ各社

- MS&AD MS&ADビジネスサポート
- MS&AD MS&ADスタッフサービス
- MS&AD MS&ADシステムズ
- MS&AD MS&AD事務サービス

MS&ADインシュアランス グループの目指す姿

MS&ADインシュアランス グループの目指す企業グループ像を明確にするため、経営理念、経営ビジョン、行動指針を次のとおり定めています。

経営理念(ミッション)

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます

経営ビジョン

持続的成長と企業価値向上を追い続ける世界トップ水準の保険・金融グループを創造します

行動指針(バリュー)

お客さま第一	CUSTOMER FOCUS カスタマー・フォーカス	わたしたちは、常にお客さまの安心と満足のために、行動します
誠実	INTEGRITY インテグリティ	わたしたちは、あらゆる場面で、あらゆる人に、誠実、親切、公平・公正に接します
チームワーク	TEAMWORK チームワーク	わたしたちは、お互いの個性と意見を尊重し、知識とアイデアを共有して、ともに成長します
革新	INNOVATION イノベーション	わたしたちは、ステークホルダーの声に耳を傾け、絶えず自分の仕事を見直します
プロフェッショナリズム	PROFESSIONALISM プロフェッショナリズム	わたしたちは、自らを磨き続け、常に高い品質のサービスを提供します

MS&ADインシュアランス グループの目指す社会像

MS&ADインシュアランス グループは「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます。」との経営理念のもと、ビジネスモデルとして掲げる価値創造ストーリーを紡いで発展してきました。

グループ中期経営計画「Vision 2021」では、新たにMS&ADインシュアランス グループが2030年に目指す社会像を、「レジリエント^(※1)でサステナブル(持続可能)な社会」と決めました。

SDGs^(※2)を私たちの取組みにおける道標(みちしるべ)として取り入れ、世界トップ水準の保険・金融グループを目指す企業として、社会との共通価値の創造(CSV: Creating Shared Value)に取り組んでいきます。

(※1) 変化する状況や予期せぬ出来事に対して、柔軟かつ上手に適応し、影響を低減し、迅速に回復する力があること。
(※2) 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)。2015年9月「国連持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な世界に向けた2030年までのグローバルな目標。17の目標と169のターゲットから構成されています。



MS&ADインシュアランス グループの価値創造ストーリー

MS&ADインシュアランス グループは、国内損保事業、国内生保事業、海外事業、金融サービス事業、リスク関連サービス事業の5つの事業ドメインで、グループのミッションの実現に向けた活動を展開しています。

『私たちの目指す「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を支えるために、それを阻害する社会的課題から生じる多様なリスクをいち早く見つけ、お伝えし、リスクの発現を防ぎ、リスクの影響を小さくするとともに、リスクが現実となった時の経済的負担を小さくするためのさまざまな商品・サービスを提供することで、世界中のチャレンジするお客さまが安心して生活や事業活動を行うことのできる環境づくりを行う』、これが私たちの価値創造ストーリーです。

MS&AD*の価値創造ストーリー

MS&ADを支える資源

財務資本

- お客さまのリスクを引き受けるのに十分かつ健全な財務基盤

連結純資産(2018年3月31日現在) **2兆9,683億円**

人的資本

- グローバルで多様な人財
- 保険・リスク関連等の知識に精通したプロフェッショナルな人財

連結従業員数(2018年3月31日現在) **41,295名**

知的資本

- 事業の長い歴史と経験に支えられた知見と信用力
- 国内・ASEANで最も豊富なリスクデータ

リスクサーベイ実施回数(2017年度実績) **1,189件**

社会・関係資本

- 国内No.1の規模を誇る顧客層

国内個人お客さま数 **約4,200万人**

国内法人お客さま数※ **約240万社**

※三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の顧客数の単純合算値(2018年3月31日現在)

- ASEAN域内 **No.1**の総収入保険料

- 国内No.1の代理店ネットワーク

国内損害保険代理店数※1 **88,532店**

国内営業拠点※2 **263部支店・1,036課支社**

国内事故対応拠点※3 **431カ所**

- 海外拠点等※4 **47カ国・地域**

※1 三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の代理店数の単純合算値(2018年3月31日現在)
 ※2 国内保険会社の拠点数の単純合算値(2018年4月1日現在)
 ※3 国内損害保険会社の事故対応拠点の単純合算値(2018年4月1日現在)
 ※4 SLI Cayman Limited(金融サービス事業)があるケイマン諸島を含む(2018年4月1日現在)

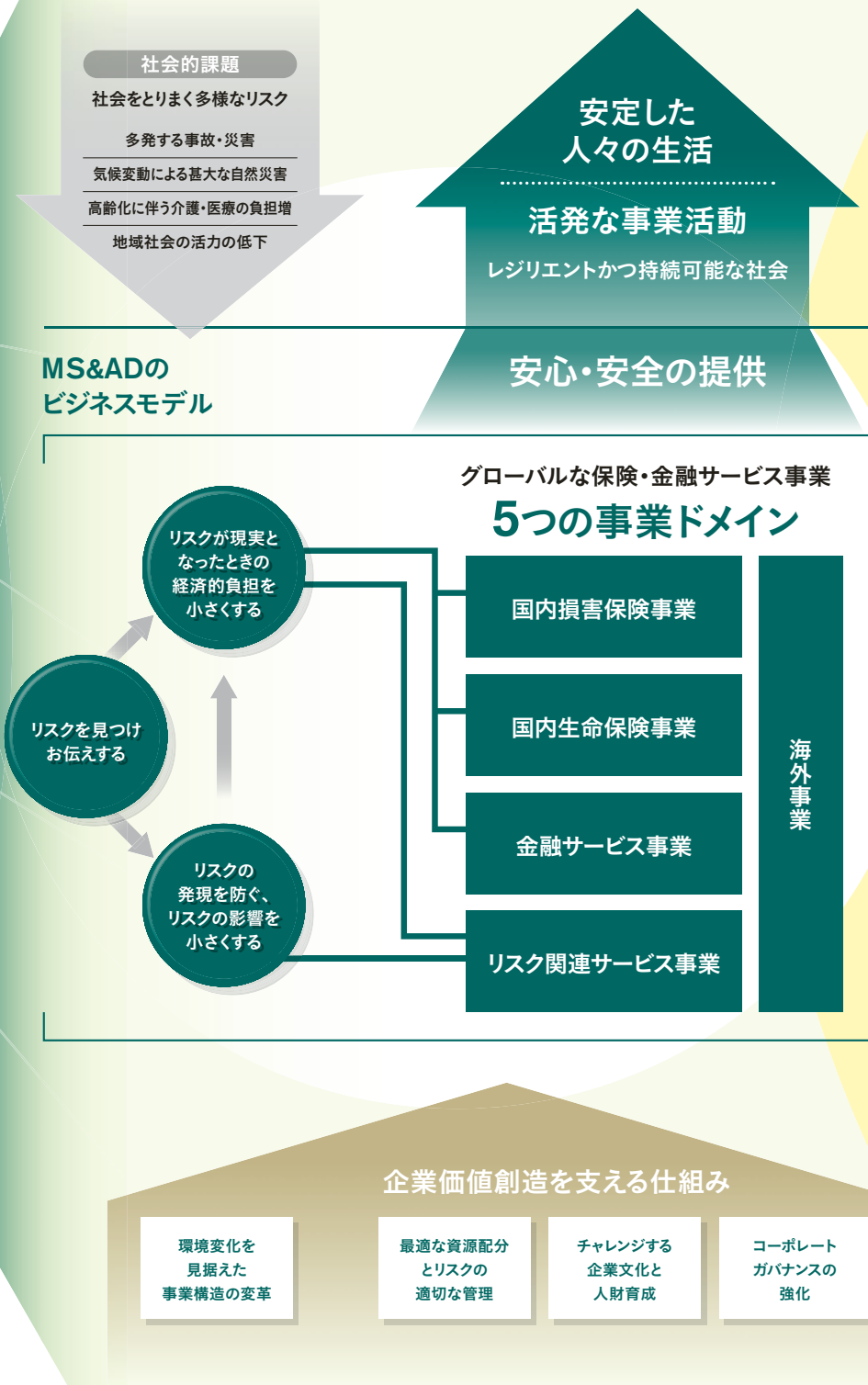
- トヨタグループ、日本生命グループ、三井グループ、住友グループなど、異業種のトップ企業とのリレーションシップ

自然資本

- 地球の安定した気候システム
- 生物多様性が保全された自然
- 持続可能な自然資源

*[MS&AD]はMS&ADインシュアランス グループを略した表記です。

活力ある社会の 発展と地球の健やかな未来



ステークホルダーとともに創出する価値 (2017年度実績)

財務資本

- 資本効率の向上
- グループ修正利益の向上
- 株主還元

グループ修正利益 **2,010億円**

グループ修正ROE **6.4%**

過去5年間のTSR※ **84.7%**

※TSR (Total Shareholder Return/株主総利回り)：株式投資により一定期間に得られた利益(配当とキャピタルゲイン)を株価(投資額)で割った比率

人的資本

- さらに働きがいを実感し、成長できる職場環境の提供
- 安定し、かつ、ワーク・ライフ・バランスにも配慮した雇用

社員満足度※1 **4.4ポイント**

有給休暇取得日数※2 **16.0日**

※1 社員意識調査結果。6ポイントが満点での社員平均ポイント
 ※2 〔定例・繰越休暇〕と〔特別休暇〕の社員平均取得日数

知的資本

- 専門性の高い社員の育成
- 変化する多様なお客さまニーズに対応する商品・サービスの提供
- リスク関連の調査研究成果の社会への提供

調査レポート※1 **72件**

アクチュアリー人数※2 **100人**

※1 CSR、企業リスク、BCM、労災リスク、交通リスク、海外危機管理情報、感染症情報などのレポートを発行
 ※2 商品開発、リスク管理、財務の健全性確認等に確率・統計等の手法を駆使する数理のプロフェッショナルである社員の在籍数(2018年4月1日時点)

社会・関係資本

- 適切かつ迅速な保険金の支払い
- 事故・災害を未然に防ぐサービスの提供
- 高品質かつ多様な代理店ネットワークの提供
- 取引先との協力関係による社会的責任の遂行
- 社会インフラや行政サービスなどの社会資本をリスクから守る商品・サービスの提供

保険金支払額※1 **2兆3,112億円**

お客さま満足度※2 **96.0%**

※1 正味支払(保険金と生命保険金等の合算値)
 ※2 自動車保険の事故対応に満足しているお客さまの割合(対象：三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保)(2017年度)

自然資本

- 気候変動の進行緩和につながるCO₂排出量削減
- 生物多様性の保全への貢献
- 持続可能な自然資源の利活用につながる負荷削減

グループ中期経営計画「Vision 2021」

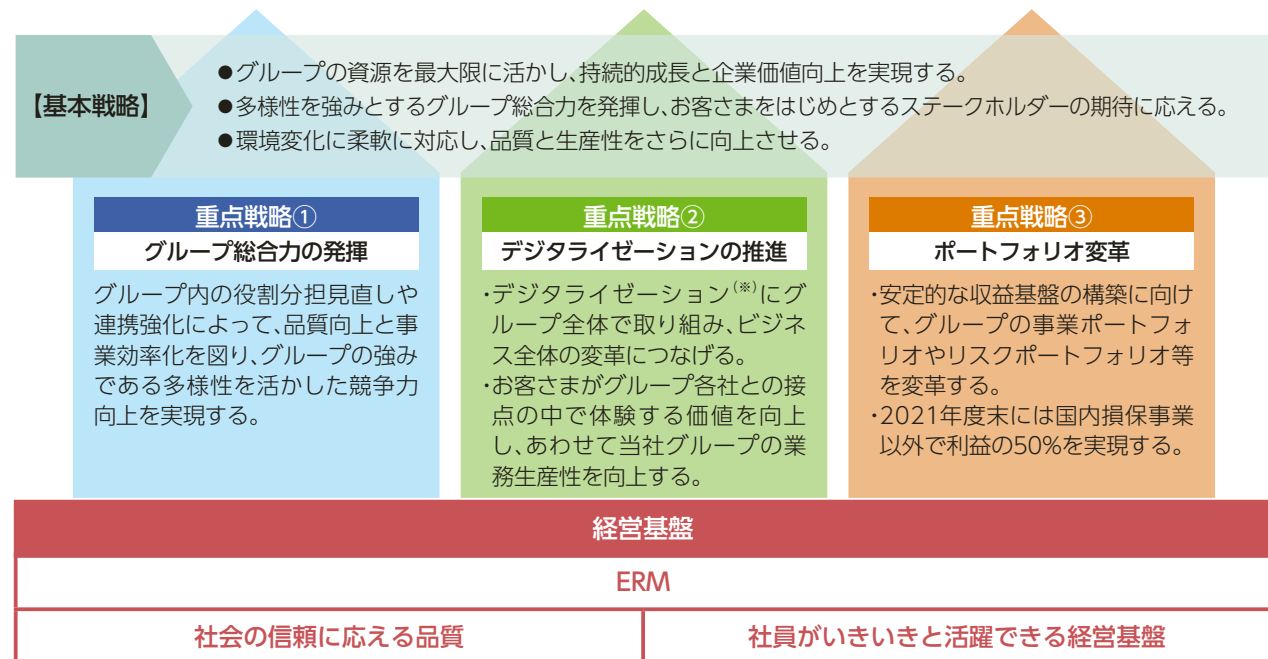
新中期経営計画「Vision 2021」では、当社グループが2030年に目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を掲げ、当社グループの強みを活かしながら、企業価値向上に向けた取組みと持続的な成長を支える枠組み、そして、達成すべき経営数値目標を明確にしています。グループ誕生以来、中期的に目指す姿としてきた「世界トップ水準の保険・金融グループ」の実現に向け、環境変化に迅速に対応できるレジリエントな態勢の構築を目指します。

「Vision 2021」の計画期間中に実現したい姿



「Vision 2021」基本戦略と3つの重点戦略

基本戦略とそれに紐づく「3つの重点戦略」により、上記の実現したい姿への到達を図ります。



（※）デジタル技術によるプロセス・サービス等の効率化・利便性向上にとどまらず、当社グループのビジネス全体の変革につなげる取組み

経営指標

2021年度の経営数値目標は「中期的に目指す姿」を達成する水準に設定しています。また、サステナビリティ中期経営計画を策定し、非財務指標もモニタリングしていきます。

経営数値目標 (単位: 億円)					非財務指標 (例)	
	2017年度実績 (新基準換算)	2018年度 予想	2019年度 目標	2021年度 目標	モニタリング指標	
グループ修正利益	2,010	2,700	2,730	3,500	社会との共通価値の創造 社会の信頼に応える品質に 社員がいきいきと活躍できる経営基盤	7つの重点課題を定め、定性的に確認する。
国内損保事業 (除く政策株式売却損益)	2,878 (2,024)	2,070 (1,660)	1,740 (1,390)	1,820 (1,420)		品質向上 ・お客さま満足度
国内生保事業	326	220	280	450		環境負荷低減 ・CO ₂ 排出量削減率 ・総エネルギー使用量 ・紙使用量
海外事業	▲1,250	370	660	1,170		ダイバーシティ&インクルージョン ・女性管理職比率 ・グローバル従業員数比率 ・障がい者雇用率
金融サービス事業/ リスク関連サービス事業	56	40	50	60		健康経営 ・社員満足度 ・年次有給休暇取得数 ・社会貢献活動実施社員数
グループ修正ROE	6.4%	8.5%	8.3%	10.0%		
連結正味収入保険料	34,469	34,800	35,300	37,100		
生命保険料 (グロス収入保険料)	15,081	14,968	15,400	16,000		
三井住友海上あいおい生命EEV ^(※) (European Embedded Value)	8,355	8,650	9,700	10,500		
ESR (Economic Solvency Ratio)	211%	201%	180%～220%			

（※）現在の純資産価値に保有契約が生み出す利益を加えた、生命保険会社の企業価値を表す指標の1つ

新定義 グループ修正ROE	グループ修正利益 修正純資産	= 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入 ^(※3) 額	その他特殊要因 ー (のれん・その他無形固定資産償却額等)	非連結グループ会社持分利益
	= 連結純資産 ^(※1) + 異常危険準備金等 ^(※2)	ー のれんその他無形固定資産		

※各調整額は税引後、（※1）除く非支配株主持分・新株予約権、（※2）国内損害保険事業および三井住友海上あいおい生命の異常危険準備金・危険準備金・価格変動準備金、（※3）戻入の場合は減算

MS&ADのビジネスモデルとSDGs

2030年に目指す社会像「レジリエントでサステナブルな社会」は、先進国・途上国の政府をはじめ、民間企業やNGOなどが実現に向けた取組みを開始しているSDGs（持続可能な開発目標）がゴールとする社会とも合致します。ビジネスモデルである価値創造ストーリーを実施し、社会との共通価値を創造することでSDGsの達成にも貢献します。

